

# こうたろう

登録番号：第9403号

登録年月日：平成13年10月18日

登録者：独立行政法人農業技術研究機構  
茨城県つくば市観音台3-1-1

育成者：吉田義雄 土屋七郎 副島淳  
一 羽生田忠敬 真田哲朗  
櫻村芳紀 増田哲男 別所英男  
小森貞男 伊藤祐司 阿部和幸

古藤田信博 加藤秀憲

来歴：「ふじ」と「はつあき」の交雑  
実生

育成地：岩手県盛岡市下厨川鍋屋敷92-  
24（独立行政法人農業技術研  
究機構果樹研究所リンゴ研究  
部）

## 特性

### ■栽培特性

樹勢が強く、樹姿は開張性を示す。短果枝の着生が多く、頂芽の花芽分化率が高いことから豊産性である。えき花芽の着生は多い。

開花期は「ふじ」より4日程度遅い。S遺伝子型はS<sub>3</sub>S<sub>1</sub>rであるため、「秋映」と「新世界」、「ぐんま名月」とは交雑不適合であるが、それらを除く一般栽培品種との和合性は高く、相互に授粉樹とすることができる。早期落果および収穫前落果は少ない。

盛岡における成熟期は10月下旬で、「ジョナゴールド」とほぼ同時期である。

### ■果実特性

果実の大きさは通常250g前後で、「ふじ」よりやや小さい。果形は円形で、果皮は濃赤色に着色して美しいが、スカーフが発生しやすい。果面サビの発生は少ない。

年によりこうあ部に小さな裂果を生じる場合がある。

糖度(Brix)は14~15%でやや高く、リンゴ酸含量は0.4%前後を示し、甘酸適和であり、芳香もあって食味は優れている。

日持ち性は「ふじ」より劣るが、貯蔵可能期間は室温で25日、冷蔵では70日前後である。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

主要病害の中で、斑点落葉病には抵抗性、黒星病には罹病性である。その他の病害虫に対しては慣行防除で特に問題はない。

やや小玉の傾向にあることから摘果は早めに行い、果実の肥大を促進させる必要がある。また、貯蔵力は「ふじ」より劣るため、適期収穫に努め、収穫遅れにならないように注意する必要がある。

### ■地域適応性

リンゴの栽培地域で栽培が可能であるが、成熟期は長野で10月中旬、東北北部で10月中~下旬、札幌周辺で11月上旬となる。

(副島淳一)